

(一社)全国配置薬協会 配置部会 総会開催 河上部会長が「配置販売業の永続化」を掲げる 次世代に残せる組織と組織運営への取り組みを表明

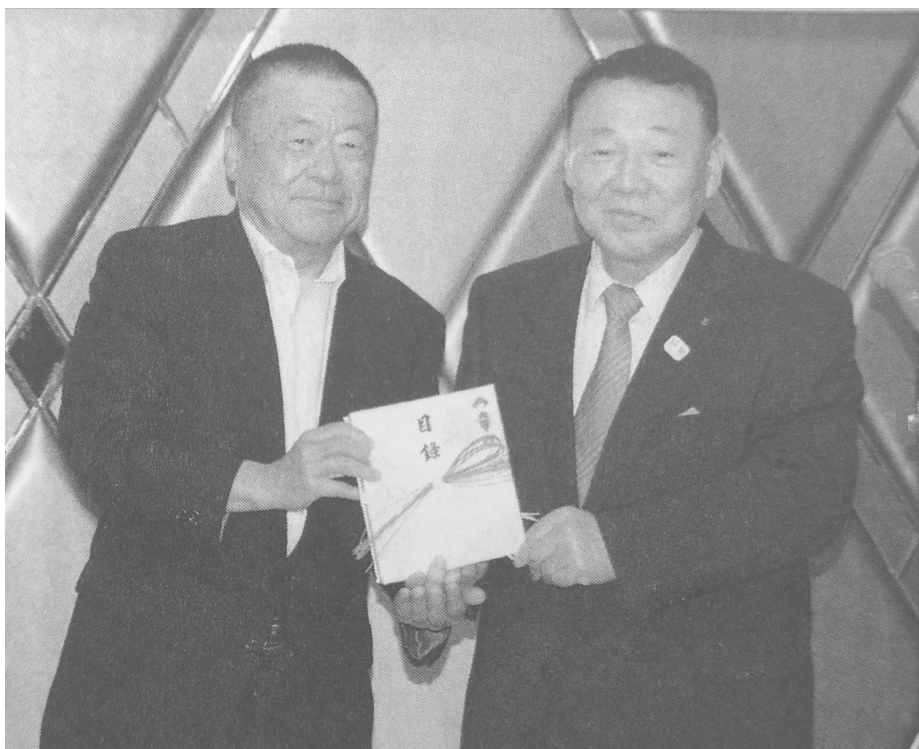
発行：日本置き薬協会 事務局

配置販売業界の最大団体（一社）全国配置薬協会の配置部会、第7回定時総会が7月24日、メルパルク東京で開催された。配置部会長の川上宗勝氏の挨拶の要旨は以下である。

国は持続可能な社会保障制度の確立に向け、増大する国民医療費の削減を図るため健康寿命の延伸やセルフメディケーション推進を掲げている。300数十年にわたり地域の健康維持増進に貢献してきた我々の配置業界が果たす役割に改めて大きな期待が寄せられている。

配置部会では昨年からの業界の実態に即した配置業界の振興策と組織（都道府県協議会等）の在り方をテーマに若手を交えた検討グループにおいて人材確保、製品開発、組織の在り方に関する検討に着手している。その方向性について先月22日に中間的取りまとめを作成した。全配協総会でこれを協議事項とし、広く会員の意見を伺い、実現に向け鋭意努力を進めていきたい。

中でも組織の在り方については、配置販売業者や従事者の減少に歩止めがかからず、組織の



塩井保彦全国配置薬協会会長にその活動費 100 万円を贈呈する河上宗勝配置部会長

弱体化が懸念されている。各ブロックや協議会では、打開策として運営簡素化を図るべきとの意見が多く出ている。現状に見合った組織の在り方運営の見直しの必要性を痛感している。しかし、経費削減ばかりに目を向け、必要以上の簡素化は、配置薬業界を縮小傾向に追い込むものであり、負のスパイラルに陥る危険性もある。配置販売経営でも同様で、いったん規模を縮小すると、もとに戻すのが至難なのは言うまでもない。今後は、必要ないものと不必要なものをしっかり仕分けし、効率的な運営を目指し、

各都道府県協議会や全配協を次の世代にしっかり継承できるよう組織の足腰を強め、改善を図っていかねばならない。

配置業界が今後も地域の皆様に貢献できるよう、共に前を向き、上を目指して、夢を語り合える組織運営に努めていきたい。（以上、薬日新聞より抜粋）

本件に関するお問合せ先

日本置き薬協会 事務局

〒332-0034 埼玉県川口市並木 2-30-6 内外救急薬品内

Tel 080-5514-7511（有馬） fax 048-251-9657

日 置 協